

国立大学法人 山形大学

事業名	雪国の良さってなんだろうー地域から学ぶ「まほろば」ー						
実施期間	平成28年1月6日(水)・1月7日(木)						
場 所	山形県米沢市小野川町						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	22	6	3	5	4		40 名

<実施内容>

雪国の良さってなんだろうー地域から学ぶ「まほろば」ー

What's good about living in a snowy region?
- Learn from charms of Yonezawa from the locals.「MAHOROBA」-



雪国体験講座

1日目は、雪国で勉学に励む山形の留学生が、慣れない冬の暮らしを快適に過ごすための知恵と工夫について、米沢市国際交流協会のスタッフによる講演・実践指導により学んだ。雪道での歩き方や雪かきの仕方、効率の良い暖房の仕方等、日常生活に関わる情報を得るとともに、雪国ならではの楽しみについても知ることができた。また、温泉の熱利用により生産されている地元の特産物「豆もやし」の収穫体験を生産農家の指導を受けながら行った。さらに、inbound観光事業として、外国人観光客に対しても積極的にアピールしていこうとしている小野川温泉を訪問し、その由来や特徴、観光の取り組み、温泉の入り方等を学んだ。

2日目には、本来スキー体験を行う予定であったが、雪不足でスキー場が営業できない事態となったため、急遽予定を変更し、温泉街を観光実行委員会メンバーと丁寧に見て回った。最後に温泉街で24時間を過ごしてみて、外国人から見てどのような点に魅力を感じ、どのような点で利用しにくいのか、観光地実行委員会の方々と熱く意見交換を行った。

<参加者からのコメント>

キュウ ギェア イン(台湾)/邱 科瑛

今回は、予定していたスキー体験ができなくて残念でしたが、地域の方々との交流を通し小野川温泉について知ることができよかったです。温泉でリラックスでき、美味しい食事ができ最高でした。またこのような素晴らしい小野川温泉をより多くの方に知ってもらいたいと思います。そのためには、台湾の番組や有名人と協力して、小野川温泉やグルメなどを番組を通して台湾の人に紹介したり、中国語や英語のウェブサイト作成、英語で小野川温泉のキャッチフレーズを作るといいと思いました。また、ビデオを撮りYouTubeに載せたり、SNSでの情報発信を増やすことで、世界中からの観光客が集まるようになると思います。

マイケル ムレイティ ギチャネさん(ケニア)/ MICHAEL MUREITHI GICHANE

地域のみなさんとの交流、温泉、美味しいご飯を食べ日本の文化を体験することができました。源泉100%かけ流しの温泉に24時間入ることができたり、外で足湯に入れるところがよかったです。小野川温泉の人たちは、とても親切でフレンドリーでした。もっと山形の良さを知りたいので、またこのようなイベントに参加したいです。私たちのような外国人にも小野川温泉を知ってもらうためには、英語版のウェブサイトを作り、旅行ルート、米沢駅から小野川温泉街までの公共交通機関や、レストラン、観光場所を載せるといいと思います。訪れる人それぞれに合ったプランを提案するのがいいと思いました。例えば、他の旅館と協力し休日パッケージツアー10日～14日間を作り、学生向け、地元の人向けなどターゲットを絞ったパッケージツアーです。特に学生向けのプランでは、グループ割引があると気軽に行くことができますし、観光客増加につながると思います。また、日本の文化や食べ物、お土産を中心としたアウトドアイベント、インドアイベントがあればより楽しむことができます。旅館に簡単な地元のお土産を用意してもらえれば、旅の良い思い出として残ると思いました。

雪を見ることができ、温泉にも入れ、美味しいご飯も食べられて、私たち留学生にとって米沢の多くの場所を知るいい機会となりました。